# 4. 土地区画整理事業、市街地再開発事業、道路、公園、駐車場等の公共の用に供する施設の整備その他の市街地の整備改善のための事業に関する事項

### [1] 市街地の整備改善の必要性

### (1)現状分析

熊本市の中心市街地は、商業、業務、観光、文化、娯楽など、様々な活動の中心地として市及び近隣市町村の核となってきた。現在でも、道路・公園等の都市基盤の整備の大半がなされ、また、都市規模に比べコンパクトな市街地が形成され、中心市街地を発着点とするバスセンターや市電などの公共交通機関も整備されており、市域のみならず100万都市圏の業務・消費などの日常の生活から芸術・文化やレクリエーション活動を支えている。

しかしながら、近年のモータリゼーションの進展と相まって市街地の拡大が進み、総合病院等の郊外移転や郊外型大規模商業施設の立地が進む中、商店街等の努力により一定のにぎわいは維持しているものの、商店街歩行者通行量や小売販売額の減少等、地域経済の衰退が危惧されているだけでなく、都市圏を牽引してきた中心性が失われつつあり、中心市街地の整備・活性化は本市の都市づくりを進める上で重要な課題となっている。

こうしたことから、これまで本市では、この中心市街地の活性化について、平成 11年3月に「熊本市中心市街地活性化基本計画」を策定し、これに基づく、商業活性 化や市街地の整備改善に向けた施策、事業を展開するとともに、本市のシンボルであ り最大の観光拠点である熊本城の復元整備事業や、九州新幹線鹿児島ルート全線開業 を睨んだ熊本駅周辺整備事業などを積極的に推進しているところである。

しかしながら、平成23年春に予定されている九州新幹線鹿児島ルートの全線開業により、九州各都市の移動時間が大幅に短縮されることとなり、九州の一体化が促進される一方で、九州内の各都市間や都市圏間の競争が激化することが予想されるところであり、今後、本市が、これらの時代変化に的確に対応し持続的な繁栄を図るためには、本市の顔であり、行政・経済はもとより文化など、様々な活動の舞台となる中心市街地の更なる活性化は喫緊の課題である。

### (2) 市街地の整備改善の必要性

中心市街地の現状を踏まえ、人々が活発に交流し、城下町の魅力があふれ、誰もが 気軽に訪れることができるまちづくりを目指すという中心市街地活性化のための基 本方針を達成するために、「市街地整備改善」として以下の施策を今回の中心市街地 活性化基本計画に位置づけるものである。

## ○目標1 「人々が活発に交流しにぎわうまち」

市街地の整備改善は中心市街地の活性化を推進する上で、極めて重要であり、特に、 熊本市の陸の玄関口である熊本駅及び駅周辺地区については、九州新幹線鹿児島ルートの全線開業を睨み、交流拠点の形成を図るため、市街地再開発事業、土地区画整理 事業や街路事業等により、行政・業務・文化など多様な都市機能の充実や、安全で快 適な居住環境の創出を図るものである。

### 【記載事業】

- 街路事業 都市計画道路熊本駅南線整備
- 道路事業 合同庁舎周辺道路整備
- まちづくり活動支援事業 市街地形成地区整備推進事業
- 地域創造支援事業 坪井川親水空間整備事業
- · 熊本駅西土地区画整理事業
- · JR鹿児島本線外1線連続立体交差事業
- 能本駅周辺 街路事業
- · 熊本駅前東A地区市街地再開発事業
- (仮称) 市街地再開発等事業(桜町地区)
- 優良建築物等整備事業(花畑地区)
- · 市街地再開発事業(花畑地区)
- · 城東町第3号線電線共同溝整備事業
- 交通安全事業統合補助金(熊本市細工町地区)熊本高森線
- · 都市·地域総合交通戦略策定調查
- 新熊本合同庁舎の整備
- · 白川直轄総合水系環境整備事業
- · 白川緊急対策特定区間整備事業
- 熊本駅周辺都市機能誘導等推進事業
- ・ 熊本駅周辺まちづくり推進事業
- 熊本駅周辺等坪井川水辺空間整備事業
- 道路事業 (仮称)銀座通り歩行空間整備事業
- · 高質空間形成施設 熊本駅西口駅前広場·街路等高質空間形成事業

# 熊本駅周辺の整備 ホテル 「現成児島本銀が1個 「現成児島本銀が1個 「現成児島本銀が1個 「現成児島本銀が1個 「現成児島本銀が1個 「現成と野事第 「東日小学校」R 熊本駅 「東日小学校」R 第100 年 100 年 10

#### (3) フォローアップの考え方

中心市街地活性化基本計画に位置づけられた施策については、進捗調査を毎年(2年後から)実施し、中心市街地活性化協議会と十分な協議を行いながら、状況に応じて事業等の見直しや改善を図るものである。

また、計画期間満了時点において最終的な進捗管理を行い、長期的な展望にたって、中心市街地活性化の推進を図っていくものとする。

# [2] 具体的事業の内容

(1)法に定める特別の措置に関連する事業特になし。

(2)①認定と連携した支援措置のうち、認定と連携した特例措置に関連する事業

		り、配足と連携した付別相直		
事業名、内容及び実施時期	実施主体	目標達成のための位置づけ及 び必要性	支援措置の内容 及び実施時期	そ の 他 の事項
事業名:街路事業 都市計画 道路熊本駅南線整備 実施場所:熊本市春日2丁目 事業概要: •都市計画道路 熊本駅南線 延長 約110m(総延長 約 290m) 幅員18m (一部供用開始) 実施時期:平成16年度~平成22年度 事業名:道路事業 合同庁舎 周辺道路整備 実施場所:熊本市春日2丁目 •市道 合同庁舎南側 延長 約220m 幅員6m 実施時期:平成18年度~平成23年度	熊本市	熊本駅周辺の円滑な道路交通網の整備を担い、交流拠点性の高い中心市街地を目指す事業であることから、中心市街地の活性化に必要である。 熊本駅周辺の円滑な道路交通網の整備を担い、交流拠点性の高い中心市街地を目指す事業であることから、中心市街地を目指す事業であることから、中心市街地の活性化に必要である。	○支援措置名 社会資金(都再生整備計画事業) ○実施時期 平成 18 年度 ○支援措置を不成 22 年度 ○支援措本(都事業) ○支援情本を(都事業) ○実施時期 年度 (本) ○実施時期 年度 (本) ○実施時期 平成 18 年度 ○実施時期 平成 18 年度	
事業名:まちづくり活動支援 事業 市街地形成地区整備 推進事業 実施場所:熊本駅周辺地区 事業概要: ・熊本駅東地区まちづくり住 民会議及び連絡会議の開催 市街地整備ゾーン(駅直 近街区約 22ha、東 B、南 A、二本木地区等)における地区計画策定に向けた 協議 実施時期:平成 18 年度~平 成 22 年度頃	熊本市	熊本駅周辺整備にあわせ、良 好な所とでは、 を図をでした。 を図をでした。 を図をでした。 を図をでした。 をでは、 をでした。 をでは、 をでは、 をでは、 をでは、 をでは、 をでは、 をでは、 をでは、	○支援措置名 まちづくり交付 金 ○実施時期 平成18年度~平 成21年度	
事業名:地域創造支援事業 坪井川親水空間整備事業 実施場所:熊本駅周辺 坪井 川河川敷 事業概要: ・東A地区の再開発と連携し た坪井川親水空間の整備 実施時期:平成20年度~平 成23年度	熊本市	東Aの市街地再開発事業等と連携しながら、坪井川の親水空間の整備を行う。 東A地区のポテンシャルの向上に寄与するとともに、広くは坪井川の利活用等、観光施策との連携を図り、多くの人々を集めることを目指した事業であって、交流拠点性の高い中心市街地を推進していく事業であることから、中心市街地の活性化に必要である。	○支援措置名 社会資本整備総 合交付金(都市再 生整備計画事業) ○実施時期 平成20年度~平 成22年度	

事業名:熊本駅西土地区画整	熊本市	西口駅前広場やアクセス道	○支援措置名	
理事業		路の整備等によって、新しい熊	社会資本整備総	
実施場所:熊本市春日3丁目		本駅の新幹線口として、団体バ	合交付金(都市再	
~7丁目、田崎1丁目の一部		スの発着場機能等重要な役割	生整備計画事業)	
事業概要:		を果たすとともに、交流拠点性		
・熊本駅西における土地区画		の高い中心市街地を推進して	○実施時期	
整理事業		いく事業であることから、中心	平成 18 年度~平	
		市街地の活性化に必要である。	成 22 年度	
平成17年度から施行計		印角地の佰性化に必要しめる。	从22 中浸	
画に基づき順次仮換地指				
定を行うとともに、宅地造				
成や道路築造の工事に着			○支援措置名	
手しており、九州新幹線鹿			社会資本整備総	
児島ルートの全線開業時				
には、新幹線口となる西口			合交付金(都市再	
駅前広場やそのアクセス			生区画整理事業)	
道路等の整備を行うとと			<i>○                                    </i>	
もに、安全で安心な居住環			○実施時期	
境の整備を行う。			平成23年度~平	
・施行面積 18.1ha			成 25 年度	
実施時期:平成13年度~平				
成 28 年度				
事業名:高質空間形成施設	能未士	県都の陸の玄関(新幹線側)	○支援措置名	
熊本駅西口駅前広場・街路等	熊本市	の西口駅前広場について、KAP	社会資本整備総	
高質空間形成事業		(くまもとアートポリス)を活	合交付金(都市再	
		用し、魅力ある都市空間整備を	生整備計画事業)	
実施場所:熊本駅西口		行い、あわせて熊本駅西地区の	生 金 佣 計 四 争 来 /	
事業概要:		街路空間等のグレードアップ		
西口駅前広場:約5,700 m²		を図ることで、新しい熊本駅の	○実施時期	
熊本駅西口線:約93m		新幹線口として、団体バスの発	平成 21 年度~平	
田崎春日線:約910m		着場機能等重要な役割を果た	成 22 年度	
春日池上線:約300m		すとともに、交流拠点性の高い		
自転車・歩行者道路		中心市街地の形成を推進して		
実施時期:平成21年度~平		いく事業であることから、中心   市街地の活性化に必要である。		
成 22 年度				
事業名:[仮称]市街地再開	九州産	中心市街地の核として、広域	○支援措置名	
発等事業(桜町地区)	交ホー	的な公共交通のターミナルと	社会資本整備総	
実施場所:熊本市桜町	ルディ	しての機能強化、利便性向上、	合交付金(市街地	
事業概要:	ングス	商業・業務の拠点としてのにぎ	再開発事業等)	
低層部:バスターミナル、商	㈱ほか	わいを創出、街なか居住の促進		
業、駐車場等	関係者	などに寄与する事業であるこ	○実施時期	
高層部:ホテル、住居等	の協議	とから、中心市街地の活性化に	平成 23 年度まで	
実施時期:平成23年度まで	により	必要である。	に着手	
に着手	決定			
事業名:市街地再開発事業	地権者	中心市街地の核としての機	○支援措置名	
(花畑地区)	等関係	能を備え、にぎわい空間創出等	社会資本整備総	
実施場所:熊本市花畑町	者の協	都市の再生を促進する事業で	合交付金(市街地	
	議によ	あって、中心市街地全体の活性	再開発事業等)	
事業概要:	助決定	化に必要である。		
現有地に新たな集客施設を	ソ仏座	IUIC必女(のる。 	○実施時期	
整備する事業			平成 22 年度~	
地区面積:約 0.9ha			かわ	
実施時期:平成22年度~			なお、平成 19 年 度〜平成 21 年度	
			は優良建築物等	
			整備事業を活用	
	l		上m ナ / C 111/11	

# (2)②認定と連携した支援措置のうち、認定と連携した重点的な支援措置に関連する事業

(4) 仏部足と連携した文族		•		
事業名、内容及び実施時期	実施主体	目標達成のための位置づけ及び		
		必要性	容及び実施時     期	の事項
事業名: JR鹿児島本線外1	熊本県	鉄道を高架化し、踏み切りを		
線連続立体交差事業	7.1.	除去する当事業を進めること	社会資本整備	
実施場所:熊本市池田~田崎		で、鉄道による東西市街地の分	総合交付金(道	
事業概要:鉄道を高架化し、		断を解消し、交通の円滑化や土	路事業(街路))	
踏切を除去する。		地利用の一体的な促進が図ら		
・延長約 L=7.1km		れ、様々な事業・商業活動を促	○実施期間	
実施時期:平成13年度~平		進するものであり、今計画期間		
成 28 年度		中に事業自体は完了しないが、	平成 25 年度	
		将来を見越した民間の投資や融		
		賞を促すことが見込め「人々が 活発に交流しにぎわうまち」と		
		いう目標に寄与する事業である		
		ことから中心市街地の活性化に		
		必要である。		
事業名:熊本駅周辺 街路事	熊本県	九州新幹線鹿児島ルート全線	○支援措置名	
業		   開業を睨み、熊本駅及び熊本駅	社会資本整備	
実施場所:熊本駅周辺地域		周辺地区において、道路、東口	総合交付金(道	
事業概要:			路 事 業 ( 街 路))、社会資本	
○熊本駅北部線		駅広場、市電の電停及びバス停	整備総合交付	
・延長 L=320m		の整備など街路事業により円滑	金(住宅市街地	
・幅員 W=36m		な交通網を形成し、交流拠点の	総合整備事業)	
○春日池上線 ・延長 L=300m		形成を図ることは、「人が活発に		
・幅員 W=30m		   交流しにぎわうまち」という目	○実施時期	
○熊本駅帯山線		標に寄与するものであり、中心	平成 21 年度~	
・延長 L=240m			平成 25 年度	
・幅員 W=32m		市街地の活性化に必要である。		
○熊本駅城山線				
・延長 L=369m、				
・幅員 W=36m				
実施時期:平成13年度~平				
成30年度 事業名:熊本駅前東A地区市	熊本市	due > . No I min >	○支援措置名	
事業名: 熊本駅削泉A地区円   街地再開発事業	111年5月	新しい熊本駅前にふさわしい	○又饭疳直名   市街地再開発	
実施場所:熊本市春日1丁目		魅力的な景観の形成とにぎわい	事業	
~2 丁目の一部		の創出を図るため九州新幹線鹿	- /,-	
事業概要:		児島ルート全線開業に合わせて	○実施時期	
・熊本駅前東A地区における		事業を行う。	平成 17 年度~	
第二種市街地再開発事業		平成18年度に事業提案競技を	平成 20 年度	
・施行面積 1.4ha		行い、公共公益施設、商業業務		
• 施設規模 延床面積				
約 51,900 ㎡ (公益施設		施設、共同住宅等の整備を一体		
約 9,500 ㎡、商業・業務 施設 約 3,600 ㎡、住宅		的に行うことにより、人、もの、		
施設 約 3,600 m、任七 施設 約 20,400 m <sup>2</sup> 、共		情報の交流拠点としての役割が		
用部 約 18,400 m²)		期待できることから、中心市街		
/ 13 HP / / 10, 100 III /		地の活性化に必要である。		

	T			_
実施時期:平成17年度~平				
成 20 年度				
	ما ا ا			
事業名:熊本駅西土地区画整	熊本市	西口駅前広場やアクセス道路	○支援措置名	
理事業		の整備等によって、新しい熊本	社会資本整備 総合交付金(道	
実施場所:熊本市春日3丁目 ~7丁目、田崎1丁目の一部		駅の新幹線口として、団体バス	総合父刊金(垣   路事業(区画))	
事業概要:			□ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □	
事業似安 .  ・熊本駅西における土地区画		の発着場機能等重要な役割を果		
整理事業		たすとともに、交流拠点性の高	○実施時期	
平成 17 年度から施行計		い中心市街地を推進していく事	平成 13 年度~ 平成 26 年度	
画に基づき順次仮換地指		業であることから、中心市街地	平风 20 平及	
定を行うとともに、宅地造		の活性化に必要である。		
成や道路築造の工事に着		の日本にに必安である。		
手しており、九州新幹線鹿				
児島ルートの全線開業時				
には、新幹線口となる西口				
駅前広場やそのアクセス				
道路等の整備を行うとと				
もに、安全で安心な居住環				
境の整備を行う。 ・施行面積 18.1 h a				
実施時期:平成13年度~平				
成 28 年度				
事業名:優良建築物等整備事	地権者等	中心市街地の核としての機能	○支援措置名	
業(花畑地区)			優良建築物等	
実施場所:熊本市花畑町	関係者の	を備え、にぎわい空間創出等都	整備事業	
事業概要:	協議によ	市の再生を促進する事業であっ		
現有地に新たな集客施設を	り決定	て、中心市街地全体の活性化に	○実施時期	
整備する事業		必要である。	平成 19 年度~	
地区面積:約 0.9ha		2200	平成 21 年度	
実施時期:平成19年度~平			なお、平成 22	
成 21 年度			年度からは社	
			会資本整備総	
			合交付金(市街	
			地再開発事業	
			等)を活用	
事業名:城東町第3号線電線	熊本市	道路上から電柱・電線をなく	○支援措置名	$\neg$
共同溝整備事業		すことにより、安全で快適な歩	道路事業	
ハい祖中正加サ木		, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	た州ナ人	
		行空間を整備し、町並みの魅力		
実施場所:熊本市城東町		アップをするもので、中心市街	○実施時期	
<b>本米相用 等位工口准~卦</b>		地の活性化に必要である。	平成 18 年度~	
事業概要:電線共同溝の整			平成 19 年度	
備、歩道・車道の整備				
実施時期:平成 18 年度~平				
成 19 年度				
1	1			

事業名:交通安全事業統合補	熊本県	道路上から電柱・電線をなく	○支援措置名
助金(熊本市細工町地区)熊		   すことにより、安全で快適な歩	交通安全事業
本高森線		行空間を整備し、町並みの魅力	地区一括統合
実施場所:熊本市細工町		アップをするもので、中心市街	補助
   事業概要:		地の活性化に必要である。	
電線共同溝整備 L=140m			○実施時期
歩道整備			平成 18 年度~
			平成 19 年度
成19年度			
事業名:都市·地域総合交通 戦略策定調査	熊本県、 熊本市、	九州新幹線鹿児島ルートの全	○支援措置名 社会資本整備
	熊本市、   熊本電気	線開業を睨んで、熊本都市圏の	社云 貞 本 盌 /
実施場所:熊本都市圏	鉄道株式	交通ネットワークの整備に関す	路事業(街路))
	会社、	る検討を行い、熊本を訪れる観	
事業概要:	九州産交バス株式	光客や地域住民等の利便性等を	○実施時期 平成19年度~
九州新幹線鹿児島ルートの	会社、	確保し、併せて、都市圏内の基	1 /9410 1 /2
全線開業を睨んで効率的な熊本都市圏の交通ネットワ	熊本バス	幹交通である鉄軌道やその他の	
一ク整備を推進するために	株式会社、	公共交通ネットワーク利活用を	
事業の順位付けを行い、実施	熊本市交	検討し、中心市街地の公共交通	
計画を策定する。	通局	の利便性を向上させることは、	
①熊本電鉄の都心結節検討		「誰もが気軽に訪れることがで	
②公共交通関係事業(①を除		きるまち」という目標に寄与す	
く)の整備検討 ③道路関係事業の整備検討		る事業であり、中心市街地の活	
④自転車関係など		性化に必要である。	
実施時期:平成15年度~			

# (3)中心市街地の活性化に資するその他の支援措置に関連する事業

事業名、内容及び実施時期	実施主体	目標達成のための位置づけ及び	支援措置の内	その他
		必要性	容及び実施時	の事項
			期	
事業名:新熊本合同庁舎の整備	国	熊本駅前東A地区の再開発ビ	国直轄事業	
実施場所:熊本市春日2丁目の		ルとともに、駅周辺地区の拠点		
一部		施設として、大きな集客性が期		
事業概要:		待されるとともに、今後の民間		
・敷地面積 約 2.5ha		開発等を誘発する要素を含んで		
・施設規模 約 <b>52,500</b> ㎡		おり、交流拠点性の高い中心市		
		街地を推進していく事業である		
実施時期:平成19年度~平成		ことから、中心市街地の活性化		
22 年度		に必要である。		

事業名:白川直轄総合水系環境整備事業 実施場所: 熊本市本荘地区、慶徳地区 (長六橋〜代継橋) 事業概要: 地元代表・国・県・市で構成する「本荘・慶徳地区活動推進協議会」で議論された整備案をもとに、協議会等と連携を図りながら水辺へのアクセス整備や水際の整備を行い、中心市街地における地域住民の憩いの場となる水辺空間を創出する。	囲	以前から、河川敷の公園など、市民の憩いの場として利用されている白川において、今後河川改修が進められることに併せ、中心市街地における緑溢れる水辺空間を創出すること来街はとなる時間を引出するとなる時間を引出するとなる時間を引出がある。 居住者の憩いの創出が期待できることから、中心市街地に必要である。 活性化に必要である。	国直轄事業 (直轄総合水 系環境整備事業)	
19年度 事業名:白川緊急対策特定区間整備事業 実施場所:中心市街地 事業概要: 白川は熊本市の中心部を貫流しているにも係が表にも係が表でいるにも係が表でいる。また、市街地は天井川の心を重にないる。またいるによりである。まが想定される。ち白川水系が15年度よりである。といるでは、平成15年度よりである。といるでは、本のと変を行う。 実施時期:平成15年度より概ね10年	田	治水に対する安全性が向上されることで、災害に強い、安全 安心のまちづくりを推進すると ともに白川へのアクセスルート の改善が図られ、中心市街地に おける回遊性の向上と、にざわ いの創出が期待できることか ら、中心市街地の活性化に必要 である。	国直轄事業 (直轄河川改修費 直轄河川都市基盤整備事業)	

# (4)国の支援がないその他の事業

事業名、内容及び実施時期	実施主体	目標達成のための位置づけ及び必 要性	国以外の支援 措置の内容及 び実施時期	その他の事項
事業名:熊本駅周辺都市機能 誘導等推進事業 実施場所:熊本駅周辺地域 事業概要:県、熊本市、JR 九州並びに地元経済界等に	熊本県	熊本駅周辺地域の魅力やにぎわい創出のため、民間を主体とした都市機能導入のための検討を行う事業であって、交流拠点性の高い中心市街地を推進していく事業で		

よる「熊本駅周辺整備に関するトップ会議」の議論を踏まえ、駅周辺に導入が望まれる都市機能について、核となる施設の選定や配置等について検討を行う。 実施時期:平成18年度~平成30年度	-ht -1-10	あることから、中心市街地の活性化に必要である。	
事業名:熊本駅周辺まちづくり推進事業 実施場所:熊本駅周辺地域 事業概要: ・熊本駅周辺地域まちづくり 推進協議会の開催 熊本駅周辺地域整備基本 計画の推進 ・熊本駅周辺地域都市空間デ ザイン会議の開催。 熊本駅周辺における良好 な都市空間形成を図ると ともに、デザインの統一性 や長期にわたるデザイン の十二 をもに、デザインの様子 の十二 をもに、デザインの様子 を表別におった。 を表別にあった。 を表別にある。 を表別になる。 を表別にある。 を、 を、 を、 を、 を、 を、 を、 を、 を、 を、 を、 を、 を、	熊本 本市	熊本駅周辺地域まちづくり推進協議会を定期的に開催し、熊本を定期的に開催し、熊本を定期的に開催し、熊本を定期の本計画の推進をでは、(仮称)熊本ドでは、(仮称)熊本ドでは、近ばれて、大きでは、大きでは、大きでは、大きでは、大きでは、大きでは、大きでは、大きでは	
成 23 年度頃 事業名:熊本駅周辺等 坪 井川水辺空間整備事業 実施場所:坪井川春日橋〜 祇園橋区間 事業概要:河川敷の親水空間 及び散策路整備 実施時期:平成 20 年度〜平 成 30 年度頃	熊本県	東Aの市街地再開発事業等と連携しながら、坪井川の親水空間及び散策路等の整備を行い、多くの人々を集める魅力を創出する事業であって、交流拠点性の高い中心市街地を推進していく事業であることから、中心市街地の活性化に必要である。	
事業名:道路事業(仮称) 銀座通り歩行空間整備事業 実施場所:熊本市銀座通り 事業概要:パーキングメータ 一を撤去して、歩道を拡幅 し、広幅員の歩行者空間を 創出し、拡幅された歩道部 分に、駐輪スペース、荷捌 きスペース、タクシー乗り 場を設置する。 実施時期:平成20年度~平 成22年度	熊本市	中心市街地における銀座通りのパーキングメーター撤去により、歩道空間を拡幅し、駐輪場スペース、荷捌きスペース等を設置し、来街者等の利便の促進を図り、「誰もが気軽に訪れることができるまち」という目標に寄与する事業であることから、中心市街地の活性化に必要である。	今後、 都市整備 計載 記載